



# 給食だより

令和8年1月

草津市学校給食センター

電話 077-563-4380

草津市第二学校給食センター

電話 077-568-5115

1月24日～30日は  
全国学校給食週間です

## 学校給食について知ろう！

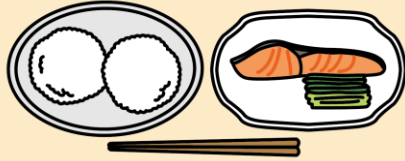
日本の学校給食の歴史は、明治 22 (1889) 年に山形県にある小学校で、お弁当を持ってこれない児童に昼食を無料で提供したのが始まりとされています。その後、各地で給食が実施されるようになりますが、戦争などの影響で中断されてしまいました。

そして戦後、支援物資による給食再開を記念して設けられたのが、1月 24 日～30 日の「全国学校給食週間」です。「全国学校給食週間」は、学校給食の意義や役割について理解や関心を高めることを目的としています。

草津市では、19 日～23 日までを学校給食週間として、世界各国の料理が登場する特別献立を提供します。

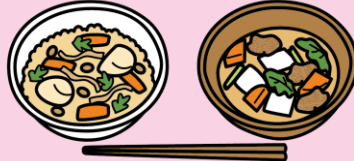
### …学校給食の歴史…

明治 22 年ごろ



おにぎり 塩ザケ 漬物

大正 12 年ごろ



五色ごはん 栄養みそ汁

昭和 17 年ごろ



すいとんのみそ汁

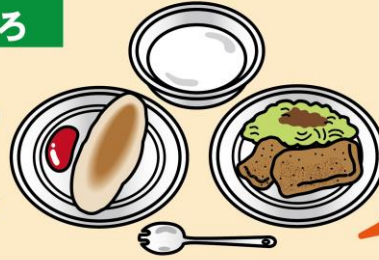
昭和 22 年ごろ



ミルク(脱脂粉乳) トマトシチュー

昭和 27 年ごろ

コッペパン  
ミルク(脱脂粉乳)  
鯨肉の竜田揚げ  
せん切りキャベツ  
ジャム



昭和25年に、アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が始まりました。

昭和 40 年ごろ

ソフトめん  
ミートソース  
牛乳  
フライポテト  
黄桃



昭和 51 年ごろ

カレーライス  
牛乳  
塩もみ  
ゆで卵



昭和30年代後半には脱脂粉乳のミルクが牛乳へと切り替わり、コッペパン以外のパンやソフトめんなど、主食の種類が増えていきました。米飯が正式に導入されたのは昭和51年のことです。

### …現在の学校給食の役割…

現在の学校給食は、ごはんを中心とした和食の献立を基本に、郷土料理や行事食を提供しています。また、世界の多様な食文化への理解を深めることを目的とし、様々な国の料理も取り入れています。そして食事の提供だけでなく、栄養バランスや地域の食文化、食べ物への感謝の気持ちなど、様々なことを学ぶための「生きた教材」として活用するなど、「食育」の役割も担っています。



冬休み中も、「早寝・早起き・朝ごはん」で元気に毎日を過ごしましょう！！